

## 【エシカルプロクールシリーズ共通下塗材】

＜非金属系/屋根・壁用：スレート屋根、波形スレート屋根、金属屋根、モニエル瓦、壁スレート等＞

# エシカルシーラーJ 施工仕様書

＜1 液弱溶剤形エポキシ樹脂系浸透下塗材＞

※非金属 JIS 仕様用で、浸透性固化性に優れ、旧塗膜への影響も少ない下塗材です。

## (1).工程表

工程	製品名	塗布量 (kg/ m <sup>2</sup> )	塗布 回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈率	塗装方法
下地調整	・粉化物、付着物等は清掃・高圧洗浄し、下地を十分に乾燥させてください。 ・旧塗膜の劣化部分は周辺部分を含め除去し、ご苔、藻、ごみ、塵埃、油脂分などの付着物及び劣化塗膜は、高圧水洗浄（10MPa 程度）で入念に除去し、水洗い後は翌日まで十分乾燥した清浄な面にしてください。 (新生瓦の板と板の隙間は特に入念に掃除してください。) ・下地のひび割れ、傷、不陸、欠損部の修理など補修が必要な箇所は、塗装工事前に実施してください。					
下塗り	エシカルシーラーJ	0.2~0.8	1	4 時間以上 7 日以内	無希釈	はけ ウールローラー <sup>エアレス</sup>
上塗り	エシカルプロクール Si / A エシカルプロクール F 中塗り +エシカルプロクール F	0.15	2 1+1	3 時間以上 7 日以内	清水 0~5%	はけ ウールローラー <sup>エアレス</sup>

注) 塗布量は改修収回数等を含む、個々の条件によって異なります。（記載は塗装作業に必要な標準使用量の数値です。）

注) 上塗材は特殊セラミックを配合している為、必ず使用直前（各工程）に3分以上攪拌機（低速回転）で攪拌の上ご使用下さい。

注) 間隔時間・所要量の値は標準的なもので、施工方法・器具、被塗物形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

## (2).材料荷姿

種類	材料名	荷姿	標準塗装面積
下塗材	エシカルシーラーJ	15 kg/缶	18 m <sup>2</sup> ~75 m <sup>2</sup> /缶
上塗材	エシカルプロクール Si / A エシカルプロクール F 中塗り +エシカルプロクール F	14 kg/缶	90 m <sup>2</sup> /缶

## 使用上の注意事項

- 1) 下塗材は、だれ、むらのないよう均一に塗り付けてください。
- 2) 塗装及びスレート屋根、波形スレート屋根で、一回目の改修の場合は、光沢感が出るまで重ね塗りしてください。
- 3) 旧塗膜の浮き・剥がれ・チョーキング層等は除去してから施工してください。
- 4) 事前に既存塗膜の溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 5) シーリング材への塗装は、塗膜の硬化不良・割れ・剥がれ・汚染の恐れがある為、原則不可です。
- 6) 気温 5℃以下、湿度 85%以上及び結露が懸念されるような場合は塗装を避け、コンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、水分 8%以下、pH10 以下になるまで十分に乾燥させて下さい。
- 7) 塗装中及び塗装後 6 時間以内に降雨、積雪、結露、強風等が予想される場合は、施工を避けて下さい。  
塗装間隔は午前 9 時から午後 3 時までの時間帯を推奨いたします。
- 8) 各標準施工仕様に準じて所要量及び間隔時間を厳守し、材料を取り扱う場合は特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法を厳守して下さい。
- 9) 作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 10) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細については SDS（安全データシート）を参照して下さい。